

## 特集序言

# 「オレオマテリアル部会特集」の 編集にあたって

村 岡 雅 弘

(オレオマテリアル部会編集担当, 大阪工業大学工学部応用化学科)



オレオマテリアル部会は、持続可能な循環型社会の構築に資する、油化学分野における機能分子の合成や新材料創製に関する技術開発と研究開発、さらには環境関連研究を扱う部会として日本油化学会に設立されました。設立当初から、油化学関連領域における学問・産業の発展に資する新規分子合成法・機能材料・新製品の開発に関する情報提供や意見交換を主な目的として種々の活動を行っております。また、部会独自に「オレオマテリアル賞」を創設し、新材料創製に関する技術開発・研究開発、および環境問題解決等において優れた業績をあげたオレオマテリアル部会員を表彰してきました。

本特集では、オレオマテリアル部会に関連のある2つの総説(受賞特集, トピックス)を取り上げました。1つ目は、2019年度のオレオマテリアル賞をご受賞された、近畿大学の今井喜胤先生(業績名:精密キラル空間制御に基づく非古典的円偏光発光(CPL)特性制御)による総説です。今井先生はこれまでに、光学活性ペプチドとピレンを組み合わせた多種類の光学活性有機発光体を合成され、それらのキラル空間配置を精密に制御した新たな手法によるCPL特性制御に成功されており、最近の成果についてご執筆いただきました。2つ目は、筑波大学の菱田真史先生による、サイエンスとアートの協奏に関する総説(トピックス)です。菱田先生がこれまで制作・展示されてきた作品の紹介と活動について紹介いただきました。

本特集が、「オレオサイエンス」読者の皆様の今後の研究・開発にお役に立てれば幸いです。また、ご多忙中ご執筆いただきましたお二人の先生方にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。